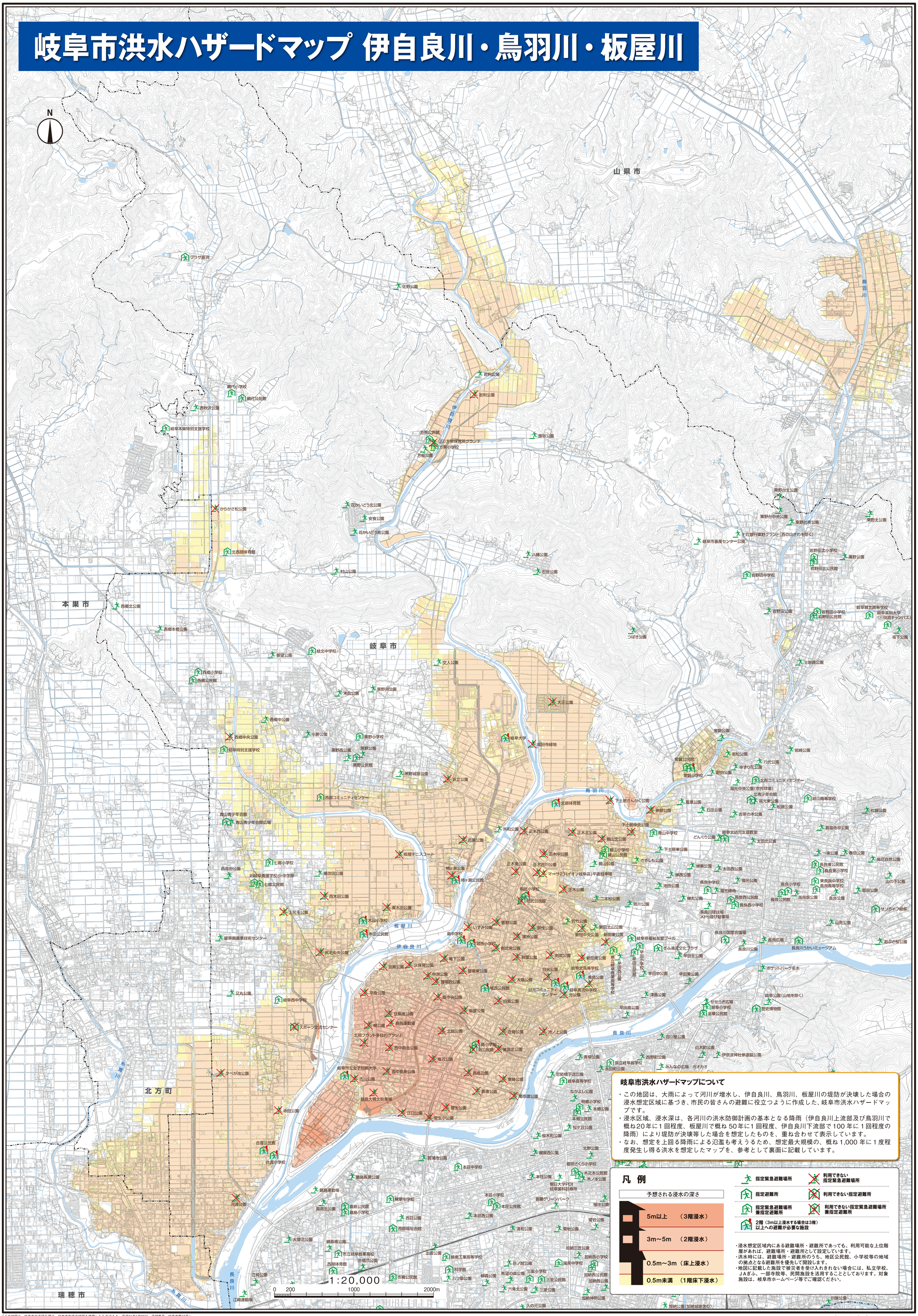
岐阜市洪水ハザードマップ 伊自良川・鳥羽川・板屋川



岐阜市洪水ハザードマップについて

- この地図は、大雨によって河川が増水し、伊自良川、鳥羽川、板屋川の堤防が決壊した場合の浸水想定区域に基づき、市民の皆さんの避難に役立つように作成した、岐阜市洪水ハザードマップです。
- 浸水区域、浸水深は、各河川の洪水防御計画の基本となる降雨（伊自良川上流部及び鳥羽川で概ね20年に1回程度、板屋川で概ね50年に1回程度、伊自良川下流部で100年に1回程度の降雨）により堤防が決壊等した場合を想定したものを、重ね合わせて表示しています。
- なお、想定を上回る降雨による氾濫も考えうるため、想定最大規模の、概ね1,000年に1度程度発生し得る洪水を想定したマップを、参考として裏面に記載しています。

凡 例

予想される浸水の深さ

- 5m以上 （3階浸水）
- 3m～5m （2階浸水）
- 0.5m～3m（床上浸水）
- 0.5m未満 （1階床下浸水）

- 指定緊急避難場所
- 利用できない指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 利用できない指定避難所
- 指定緊急避難場所兼指定避難所
- 利用できない指定緊急避難場所兼指定避難所
- 2階（3m以上浸水する場合は3階）以上への避難が必要な施設

・浸水想定区域内にある避難場所・避難所であっても、利用可能な上位階層があれば、避難場所・避難所として設定しています。
・洪水時には、避難場所・避難所のうち、地区公民館、小学校等の地域の拠点となる避難所を優先して開設します。
・地図に記載した施設で被災者を受け入れきれない場合には、私立学校、JAぎふ、一部寺院等、民間施設を活用することとしております。対象施設は、岐阜市ホームページ等でご確認ください。

「この地図は、岐阜市の承認を得て、岐阜市作成の地図を使用したものである。平成31年1月22日　承認番号　岐阜市第19号」

【禁無断複製】 ©2020 ZENRIN CO., LTD.